

### 1 題材名

小学5年：買い物の仕組みや消費者の役割を考え、上手に買いものをしよう

中学1年：買い物で世界を変えよう

### 2 題材のねらい

- (小) 買い物の仕組みや消費者としての役割を知り、適切な消費行動をとる必要があることに気づくことができる。
- (中) 売買契約の仕組みや消費者被害の背景を理解し、消費者として何を大切にし、行動すると良いかを考え、実践することができる。

### 3 授業の構想

家庭生活や社会生活が急激に変化していく中で、持続可能な社会の構築がもとめられている。その中で、消費生活についても、消費市民社会の担い手として、自覚をもって環境や社会に配慮した消費行動がとれるよう、自立した消費者を育成することが求められている。子どもたちを取り巻く消費生活も日々大きく変化してきており、キャッシュレス化に伴うスマートフォンアプリやプリペイドカード、インターネットを介した商品の購入など、子どもたちも保護者を介して間接的、あるいは実際に利用している現状がある。しかし、利用の実態はあるものの、それに伴う売買契約の仕組みや消費者としての責任についての理解は乏しく、自立した消費者として適切な消費行動をとるためにも必要な知識と言える。

本題材では、上記の点に着目して、小・中学生共に新学習指導要領で新設された内容である、売買契約の基礎や消費者被害の背景について学年段階に応じて理解を深め、これからの適切な消費行動につなげることを目的とし、展開していく。

小学生については、普段の消費行動を振り返りながら、売買契約の基礎として、「買い物」という行為は、ただ商品やサービスを購入するだけでなく、契約（法律上の約束）をしているということであることを理解できるようにしたい。消費者としての権利があることと同時に責任も発生していることに着目し、責任をもって商品選択や購入ができるようにしていきたい。

中学生については、日常生活で起こりそうな解決すべき課題に対して、既習の知識等を用い最適な解決策を考える中で消費生活に関して学びを深めさせたい。また、弁護士による専門的な意見を聞くことで、私たちの生活が法的にも社会とつながっている中で営まれている点も実感させ、より多面的な考えを養いたい。

そこで、本題材を展開するにあたり、次の点を大切にしていく。

#### **課題解決的に知識や技能が高められるような展開の工夫と教師のはたらきかけ**

売買契約の基礎や消費者被害の背景や対応等、これらに関する知識の習得が今後の適切な消費行動につながっていく。学習の際には一方的な知識の伝達にならないように、学習内容と日常生活や自分の暮らしの中の事象と関連付けながら、主体的に学習内容を捉え、日々の消費行動の問題点を見出したり、課題解決の方法を考えたりしながら消費者としての意識を高められるようにはたらきかけていきたい。

#### **多面的な視点を明確にするための、教材の工夫**

課題に関して、個人で考えた後、グループで意見を出し合い、さらに専門家である弁護士に意見をもらい全体で共有することで、多面的な視点をもって考えを深めていきたい。また課題は、新学習指導要領の内容から特に児童生徒がこれからの生活で遭遇するであろう事柄を元に、消費者センターや消費者教育支援センター等の相談事例を元に、学習内容の中からさまざまな考えが導き出されるように設定していきたい。

#### 4 展開計画

##### 【小学5年】

時間（全5時間）		内容（小学5年）
第1次	1時間	自分の購入したいものを考え，具体的な買い物方法を考える。
	1時間	・自分たちが「何を買うか」「どこで買うか」「どのように買うか」を自由に選択できるかどうかを考え，意見をまとめる。
	1時間	・ <b>弁護士さんからの解説を聞きながら，買いものの決まりや売買契約の仕組みを理解する。（本時）</b>
第2次	1時間	買い物を通して，持続可能な社会の構築に向けた行動を考える。
まとめ	1時間	これまでの学習を踏まえて，改めて具体的な買い物方法を考える。

##### 【中学1年】

時間（全12時間）		内容（中学1年）
消費生活と環境 （8時間）	1時間	自分の消費生活について振り返ろう ～自分の買い物は世界をどのように変えられるだろう～
	1時間	契約について，販売方法について知ろう ～販売方法の違いによって，大切にできることは何だろう～
	1時間	消費者トラブルについて ～消費者トラブルについてどのように対応することで世界をより良くできるだろうか～
	1時間	<b>支払方法について</b> ～ <b>便利で安心できる支払方法は，どのようにすればできるだろうか～（本時）</b>
	1時間	消費者の権利と責任 ～消費者としてどのような行動をとることが，世界をより良くするのだろうか～
	1時間	商品の選択と購入 ～より良い買い物をする消費者として，商品を選んでみよう～
	1時間	より良い消費生活を目指して①～ <b>エシカル消費は本当に必要なのだろうか～</b>
	1時間	より良い消費生活を目指して② ～自分の身近な生活の中から，問題点を見いだそう～
生活の課題と実践 （4時間）	1時間	生活の課題発見 ～見つけた問題から，解決すべき課題を設定しよう～
	1時間	解決方法の検討と計画 ～解決の見通しを持ち，計画を立てよう～
	家庭	改善策を家庭で実践し，家族から意見を聞こう
	1時間	実践活動のまとめ ～実践をまとめる～
	1時間	実践活動の評価・改善～結果を発表し，改善策を検討する～

5. 本時

【小学5年】

ねらい 『何を買うか・どこで買うか・どのように買うか』に視点を当て、買い物の決まりについて考え、疑問に思ったことを弁護士さんからのアドバイスを聞くことを通して、買い物の決まりについて興味を高め、売買契約の仕組みを理解する。(知識及び技能)

展開

主な学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
<p>○前時の学習から、本時の学習のめあてを提示し、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>買い物の決まりや仕組みを知り、これからの買い物の仕方を考えよう</p> </div> <p>○ゲストティーチャーの遠藤弁護士を紹介する。</p> <p>○自分たちの疑問や考えを練り直す。</p> <p>○自分たちの疑問や考えを発表する。</p> <p>【何でも】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お酒やたばこなど、年齢を確認されるのでだめだと思う。</li> <li>・携帯電話が欲しいけど、小学生じゃ買えないと思う。</li> </ul> <p>【どこでも】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おつかいに行くことがあるので、行くのは小学生でもどこでもいいのではないだろうか。</li> <li>・インターネットで買うためには、小学生だけではだめじゃないだろうか。</li> </ul> <p>【どんな方法でも】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現金やプリペイドカードはいいけど、クレジットカードは小学生はだめじゃないだろうか。</li> <li>・携帯での決済も小学生は使ってはいけなさそう。</li> </ul> <p>○遠藤弁護士から疑問や考えに対する解説を聞くと共に、さらに知りたいと思ったことを質問する。</p> <p>○売買契約の基礎について聞く。</p> <p>○遠藤弁護士から、なぜ買い物には決まりがあるのかということや、これからの買い物に対するアドバイスを聞く。</p> <p>○遠藤弁護士からの話を聞き、買い物の決まりや仕組みについて考えたことや分かったことをまとめ、ふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで何となく知っていたことが、買い物としてきちんと法律として決まりがあることが分かった。決まりがあるから守られていることも分かり、大切にしながら、これからの買い物をしていきたい。</li> </ul>	<p>・前時までのところで、テーマに沿って疑問や考えを整理する。</p> <p>・子どもたちの疑問や考えを事前に遠藤弁護士に伝え、連携を図りながら本時のねらいをしぼる。</p> <p>・前時にグループ毎に考えた「何でも」「どこでも」「どんな方法でも」の視点を再度確認する時間を設け、自分たちの考えをまとめたり、修正したりできるようにする。また、子どもたちの考えを問い直すことで、理由を引き出していく。合わせて買い物全体を通した疑問や考えもあればまとめる。</p> <p>・考えについて、ホワイトボードにまとめ、全体で共有しやすくすし、子どもたちの考えをつなげる手立てとする。</p> <p>・遠藤弁護士からの解説を聞いた後、再度買い物決まりについて、疑問に思ったことや考えたことを発表する機会を設けることで、更に興味・関心を深める。</p> <p>・買い物についての色々な制約や決まりは、法律によって定められていること、買い物自体売買契約という法律上の約束があることを解説することで理解が深められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>【評価の観点（知識及び技能）】</p> <p>買い物についての決まりを知り、売買契約について理解することができた。</p> <p style="text-align: right;">（発言、ホワイトボード、ワークシート）</p> </div>

【中学1年】

ねらい 支払い方法の種類と特徴を理解した上で、便利で安心できる支払い方法はどのようにすればできるのか生活場面を通し考える。(思考力・判断力・表現力)

展開

主な学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価
<p>○身近な商品（ノート・バスの運賃・本・テレビ・電気料金）の支払いを、自分の家族はどのように支払っているか思い出す。</p>	<p>○現金以外の支払い方法にも気付かせる。 商品のイラストとどのように支払っているかが記入できるカードを班ごと用意する。 ○支払方法がいろいろあるということは、時と場合に合わせて方法を選択しているという現状を押さえてから、課題を提示する。</p>
<p>課題の提示 便利で安心できる支払方法は、どのようにすればできるだろうか。</p>	
<p>○思い出した具体的な支払方法を3つ（前払い・即時払い・後払い）に分類する ○三者間契約について弁護士さんより説明を聞き理解する。(便利な点と気を付けるべき点を知る)</p> <p>○ふぞくんの家族の買い物での支払い方法を班ごとに決定する。(近所のケーキ屋さんのケーキ・売店のシャープペン・建設会社でお願いをして建てた家・壊れたため急いで電器店で購入したエアコン・ドラッグストアで購入した常備薬のかぜ薬・大型スーパーマーケットで購入した今夜のおかずの野菜・インターネット販売で購入した靴・訪問販売で購入した学習教材)</p> <p>○理由を聞きあう。 →時と場合によって支払い方法を使い分けることが大切だと気づく。 ○支払に関して疑問に思うことがないだろうか、発表する。</p> <p>○弁護士さんに疑問に答えてもらう。</p> <p>○今日の学習の振り返りを行う。</p>	<p>○3つの支払方法の特徴を知らせ、自分たちの商品カードを黒板に分類する。 ○弁護士さんの説明を聞き、今まで知らなかった三者間契約の仕組みを理解する。</p> <p>○ホワイトボードに支払方法の分類と理由が記入できるようにすることで、班での話し合いを視覚的に理解しやすくする。 ○黒板に掲示し、全体で共有。</p> <div data-bbox="858 1010 1426 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【評価の観点（思考力・判断力・表現力）】</b> 支払方法の特徴を考えながら支払方法を決定できる。(話し合い、ホワイトボード)</p> </div> <p>○その場で疑問が出ない場合は12月に記入したアンケートを紹介する。(インターネットでかばんを購入したが、送料が高かった。思ったものと色が違った。大きさが違った。こんな場合、どうやって返品すればいいのでしょうか。お金はどうすればいいのでしょうか。)(服をお店で買ったが、返品したくなって持って行った。しかしセール品なのでできなかった。)(ネット販売でお金は振り込んだのに、商品が予定の日までに来なかったらどうすればいいのだろうか。)</p> <p>○専門家に答えてもらうことで、自分たちの生活が社会とつながっていることを自覚できるようにする。</p> <p>○今日の課題に対しての気づき・疑問とキーワードを記入することで、本時を振り返らせる。</p> <div data-bbox="858 1765 1426 1980" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【評価の観点（思考力・判断力・表現力）】</b> 便利で安心できる支払方法はどのようにすればできるのか考えることができた。(ワークシート)</p> </div>